



8/2 石川県戦没者慰霊式



8/4 能美市民ボランティアフェスティバル



8/10 加賀地区中学生意見発表大会



8/10 粟生じょんがらまつり



8/22 後援会役員懇親会



8/23 石子町いきいきサロン



8/24 辰口まつり



8/24 泉台町夏祭り



8/25 大長野町防災訓練



8/25 能美市防災フェア



8/29～31 日本女性フォーラム



9/1 新保町防災講演会



9/1 能美市敬老会



9/8 県防災訓練(野々市)



9/6 KUTANism セレモニー



9/12 寺井中学校体育祭



9/14 湯野小学校運動会



9/16 小松基地航空祭



9/15 野々市中村議長就任祝賀会



9/17 能美市婦人会リーダー研修会



9/18 高齢者施設介助(白山さん)



9/22 粟生町防災訓練



9/23 能美市と中能登町の防災会意見交換会(能美市防災センター)



9/26 小松空港防災訓練



9/26 小松空港防災訓練

能美市議会議員 田中 策次郎
 絆 きずな ~能美市政報告~



「市政を語る会」開催！

令和元年9月22日(日) 三道山町公民館
 多くの方々にご参加戴きありがとうございました。



毎年開催の「市政を語る会」を今年も開催しました。
 井出 敏朗 能美市長
 佐々木 紀 国土交通大臣政務官
 宮本 周司 経済産業大臣政務官
 山田 修路 参議院議員
 岡田 直樹 官房副長官 秘書のご臨席のもと、それぞれの立場から市政へのご講話を頂きました。今後も地域の方々が生徒に政治に関心をもって戴けるような活動を続けてまいります。 田中 策次郎



9月議会 一般質問

保育環境の充実について

- 新規採用者の指導体制について
- 保育士の増員と勤務体系の見直しを
- 各保育園にフリー保育士の配置を
- 副園長の管理業務について
- 保育園に事務職員の配置を
- 非常時マニュアルの周知について

障がいのある方の家庭支援について

- 親が亡くなった時の障がい者への支援は
- 障がい者家庭の生活支援について
- 障がい者家族に集いの場を

保育環境の充実について

●新規採用者の指導体制について

新卒の正規保育士でも1年目から担任を持つと聞く、現場の保育方法は保育園によっても違いがあると思う。
●新規採用の保育士は熟練した正規保育士と組み、指導を受けながら仕事を身につける体制が必要ではないか。

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

クラスは複数担任で、園長など長年保育を経験しパートで勤務している保育士等と組むようにクラス運営を行っている。また、園内の経験豊富な保育士から学ぶ機会や、園長や副園長からも保育や保護者支援等の専門分野や精神面でのサポートを受ける体制づくりに配慮している。今年度から「保育丸ごとコンサルジュ」として熟練した保育経験者を子育て支援センターに配置し若手保育士に指導とサポートを行っている。



●保育士の増員と勤務体系の見直しを

最近保育士の中でも自分の働きやすい時間帯で働く事を選ぶ臨時保育士やパート保育士が増加している。パート保育士が半日勤務になった場合に、穴埋めが出来ない場合もあると聞く

●安定した保育の質を維持していくためにも保育士の増員と、パート保育士の勤務体系の見直しをせよ

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

正規保育士については近年、退職者数を超える職員を採用し、正規職員の比率向上に努めている。臨時職員から正規職員への採用も考慮し正規職員の確保に努めていく。

●各保育園にフリー保育士の配置を

保育士の人員に余裕が無いため保育士が休暇を取りにくい状態にあります。休暇が少ない中で働き続ければ保育士の精神的なストレスも多くなります。余裕の無い中では園児にとってもゆとりのある保育で無いと考える。多忙の中では色々な間違いも起こる可能性も多くなる事が想像されます。フリーで動ける保育士が園に居れば、人手不足の時に加え有事の際にも、すぐに応援にかけつける事ができ、重大な事故を減らすことが期待されます。保育士はずっと園児と共に過ごし休む時間ありません。

●職員休暇時の円滑な保育と、安全な保育を維持するために各保育園にフリー保育士の配置が出来ないか。

●副園長の管理業務について

副園長や主任は園の運営業務で保育室を抜ける事が多く、その間は担任が不在となり、パート保育士の対応となっている。

●園長が園の統括と事務作業を出来るよう副園長を担任から外し、園長と共に保育園の管理・運営の補助を行うべきではないか。



答 井出 敏朗 市長

今年度、粟生保育園で副園長はクラス担任を持たないフリーな立場で業務ができる体制をモデル的に運用している。クラス運営の確認や指導、行事の準備等のほか安全管理の面も運営上プラスとなっている。今後、副園長のフリー化を順次検討していく。

●保育園に事務職員の配置を

園長をはじめ一般の保育士も、保育の時間に加え多くの事務作業を求められます。多忙な仕事環境を改善し園児に向き合う時間と心のゆとりを持つことが求められます。

●保育士の事務作業を軽減するために事務職員の配置が出来ないか

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

多忙な保育士の事務作業の軽減を図るため、昨年度より順次各園にパソコンを増設し事務の効率化を図っている。今年度より保護者の利便性や安心感、満足度の向上につなげるため新規事業の「子ども子育て支援推進事業」において園児の出欠や健康状態、行事のお知らせや保護者へのお便り園児の普段の様子をスマートフォンの専用アプリから確認できるシステムをモデル的に1園導入している。このシステム導入は保育士の事務作業の軽減につながると考えており、事務作業の効率化を図りながら状況を見守りたいと考えている

●非常時マニュアルの周知について

市内保育園には災害時、事故発生時、アレルギー児対応、不審者対応などのマニュアルがある。そのマニュアルを園長・副園長・主任等だけではなく、全保育士が周知・理解していることが初動体制には必要だと思われま。これも、保育士の勤務の多忙さから全保育士に周知されている状況ではないと思われる。

●非常時マニュアルを全保育士が周知・理解する機会をつくる事が必要と考える。園での研修の機会をつくるべき。各マニュアルを全保育士が理解できるよう進めるべきである

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

食物アレルギーの研修会や緊急時のシミュレーションを実施している。また、認定こども園内外での事故を想定した救急対応の訓練や、不審者対応の防犯訓練に毎月の定例訓練として火事や地震の避難訓練も行っている。各種訓練を通しマニュアルの理解に努める。

障がいのある方の家庭支援について

●親が亡くなった時の障がい者への支援は

重度の知的障がい者・精神障がい者・医療的ケア児への自立支援が全国的に遅れていると言われています。介護者の会の全国調査では、重度の障がい者のほとんどが成人した後も親と暮らし、その介護者の7割が60歳以上の家族であるとのこと。

「自分が居なくなった後の我が子への不安」や「死ぬまで介護を続けられるのか」など毎日悩んでいると聞きます。
●介護者である親が亡くなった場合、残された障がいのある方に、市はどのような支援を行っているのか

答 井出 敏朗 市長

介護者である親が亡くなる、あるいは急に入院するなど、障がいのある方が1人残される場合があり、地域での24時間介護対応共同生活援助施設の必要性が高まっている第5期能美市障害福祉計画には「地域生活支援拠点等を令和2年度末までに整備する」「利用者ニーズに対応できる共同生活援助(グループホーム)を設置する」の2項目が記されており

地域生活支援拠点の整備・設置に向けた支援を行っている。また、できるだけ住み慣れた地域に住み続けられるよう、本人の気持ちや生活能力を勘案し、きめ細やかな支援にも心がけている。

●障がい者家庭の生活支援について

障がい者家族の声として、親がどうしても介護に掛かりきりになるために「家族の時間が無い」と聞きます。また、働きながらの介護は難しく、片方の親だけの収入で生活しているのが現状で、日々の暮らしを維持するだけでも大変との事です。貯蓄に回せる余裕は少なく生活への不安が多いと言います。障害者給付支援も行われていますが、介護などに多くの費用が掛かるのも事実です。

●介護の負担軽減や生活支援など、介護しながらも日々の暮らしや、将来的にも安定した生活を送る事ができるような支援をさらに拡充出来ないか

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

毎日休みなく続く介護により介護者は身体的、精神的、経済的負担が重なり、介護疲れが生じやすい状況にあります。身体的負担軽減として居宅介護、生活介護、短期入所などの障害福祉サービスがある。介護による離職などの経済的不安に対し、国・市の制度を利用している。今後もニーズを聞きながら必要なサービスを検討し、生活支援に努めていく。

●障がい者家族に集いの場を

障がい者の家族は介護のために外出の機会が減り、どうしても交流の機会も少なくなるとの事です。障がい者家族を地域の中で孤立させない事が求められます。介護者と共に障がいのある方が外出できる工夫に加え、地域で障がいを理解する事も必要です。これまでもいくつかの集いの場所もありますが、それらの情報を分かりやすく発信していく事も大切だと感じます。

●障がい者家族同士が話をする場所や、仲間づくりに多様な場所が求められています。市として障がい者家族の方の集いの場所をさらに増やし、加えてそれらの情報発信が出来ないか。

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

市内には障がいのある方の家族の同士が話し合いをする場に「能美子ども食堂 in 三道山」と「ゆるにこサロン」があり、さらに本年6月より「まるにこ親子の広場」をボランティアの協力のもと開催している。集いの場の情報を子育てカレンダーやママフレで発信しており、居場所や仲間づくりの場として継続し交流が盛んになるよう支援をしていきたい。



月に一度開催されている「能美子ども食堂 in 三道山」



12月議会一般質問は12月10日火曜と11日水曜です

場所 能美市本庁舎 三階議場 事前申込みは要りません。お気軽にお越し下さい。

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載の無いご意見は返信が出来ませんので、ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net



日頃の活動もご覧ください



能美市議会映像を配信中

